

課題番号6

基本方針：Ⅲ	課題名：農地の集積・集約及び適正管理の推進	
対象：担い手（認定農業者、認定新規就農者、基本構想水準到達者）、農地貸付希望者、農村集落など	計画期間：R 6～8	事務所名：東部農林振興事務所
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R 7年度末）
集落の将来像に関する協議の支援 関係機関の連携強化 モデル集落における取組の検討 新たなモデル集落の掘り起こし	協議の場等への参加 集落代表者等訪問 合同検討会 市村農地マネジメントチーム会議の開催 関係機関打合せ 集落課題検討会 協議の場等での意向調査 集落代表者等訪問 関係機関打合せ 集落打ち合わせ	<b>【地域計画の策定及び推進】</b> 集落の将来像について具体化された集落数 2集落 → 12集落 耕作者等の確定した目標地図案作成地区数 1地区 → 8地区 <b>【農村集落機能の維持を担う組織の育成】</b> モデル集落数 0集落 → 1集落 集落課題検討会の開催回数 0回 → 0回

総合評価（コメント）
<p>A：3名 B：3名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 策定した地域計画が順調に進められるよう、策定だけでなくフォローアップにも努めていただければと思います。</li> <li>■ 中山間地域の農地集積・集約は困難で時間がかかる課題ではあるが、地道に活動を続けていただければ解決の糸口も見つかるのではないかと。引き続き、活動に期待している。</li> <li>■ 来年度がプロジェクト最終年であり、地域での協議が進むことを期待する。関係者による地域の状況が確認できた。</li> <li>■ 私も農地利用最適化推進委員もしていますので、地域計画の必要性は重要だと思えます。モデル地区を達成してもらい広げていくしか無いと思えます。</li> <li>■ 部分的に検討を加えながら、普及活動を継続することが不可欠だと思えます。</li> <li>■ 里山の荒廃でクマ出没が話題になるなど里山の維持は全国民の課題になっていますのでこうした取り組みを着実に進めていってほしいと思えます。</li> </ul>

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域計画の策定推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域計画のブラッシュアップに向け、市村農地マネジメントチーム会議を開催し、市村等関係機関との連携を十分に図るとともに、ブラッシュアップの取り組みを進めるよう意識醸成を図る。</li> <li>・協議の場が開催されない地域においても、管内の集落の状況（担い手の有無や農地の管理状況）を把握するため、集落代表者等への訪問を実施する。</li> </ul> </li> <li>■ 農村集落機能の維持を担う組織の育成             <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度でモデルとなるような2集落を概ね絞り込むことができた。今後も継続して市村や関係機関と連携して課題検討会を開催できるよう調整を進める。そして、将来に向けた集落の課題の抽出とそれに対する取り組み方針の検討を集落住民とともに進める。</li> </ul> </li> </ul>